

人権高等弁務官 記者会見での発言

2019/09/04

国連人権高等弁務官事務所

バチエレ人権高等弁務官が記者会見を行った。冒頭の内容は以下のとおり。高等弁務官就任から1年間、多くの政府・市民団体などと有意義な会話をし、世界各地の国々を訪問し同僚の現地での活動を直接見る事ができた。世界の一部での人権侵害が国際的な影響をもたらしている。武力紛争、危険な状況、政治的抑圧、気候変動の危機、経済的・社会的・文化的権利の保護の失敗から逃れるために多くの人々が自国を離れ、ヘイトスピーチ、人種主義・外国人排斥の発言がインターネットやSNSで拡大している。他方、主権や国境が人権問題の提起・対処の妨げにされ、国際社会は国内問題に介入しないよう警告を受けている。全ての政府に対して、こうした危機的な人権問題に対して協調した多国主義的な方法で取り組むよう求めたい。また、国内レベルでは、信頼の構築、困難な問題の解決、混乱と紛争の防止のために包括的で有意義な対話をする必要性を改めて強調したい。